



理科部

平成 29 年 6 月 26 日

ツマグロヒョウモン

時折見る、ツマグロヒョウモン。スマレやパンジーの葉を好むため「お花を植えよう」で植えたプランターには、ツマグロヒョウモンの毛虫が沢山居ます。でも、時折？ときどき？よく見る？と考えると、「よく見る」うちに入るのでしょうか？



左 メス ・右 オス

か。それとも、環境が大きく変わりつつあるのでしょうか…。

日本鱗翅学会で報告された 10 位の蝶とツマグロヒョウモンとの共通点は「多化性」です。1 年間に 3 世代以上繰り返すのを多化性といいます。

1 年間に「何回も」発生するのでよく見るのかも知れませんが…。

撮影日 平成 29 年 6 月 24 日

撮影場所 勝山中学校

順位	種名	科名
1	アゲハ	アゲハチョウ科
2	モンシロチョウ	シロチョウ科
3	ヤマトシジミ	シジミチョウ科
4	クロアゲハ	アゲハチョウ科

日本鱗翅学会
庭のモニタリング調査 1997～2002 年

日本鱗翅学会の「庭のモニタリング調査」では、ツマグロヒョウモンは発見された蝶の 10 位までには入っていませんでした。4 位までの蝶、例えばアゲハ・クロアゲハはミカン科、モンシロチョウはアブラナ科、ヤマトシジミはカタバミ科の植物を好みます。それらの植物は、学校の周りにも沢山生えていそうです。(檸檬はもちろんミカン科です。アゲハの幼虫も居ました)。これらの 4 種より多くツマグロヒョウモンをみます。この 20 年間で、学校の周りには、スマレやパンジーが増えてしまったのでしょうか。